



とともに、熊本地震で被災した県内各地の建物や設備、地震断層などの震災遺構を巡る回廊型ミュージアムです。

記憶の廻廊の中核となる施設が、熊本地震震災ミュージアム KIOKU です。KIOKU では、旧東海大学阿蘇キャンパスで被災した旧 1 号館建物や地表地震断層の遺構が保存展示されています。旧 1 号館は、熊本地震の際に、直下を地表地震断層が通過し基礎部分の杭頭が破壊されるなど、大きな被害が発生しました。Y 字形の校舎の両端部分は耐震補強がされていたことから軽微な被害にとどまっております。耐震補強の効果も見ることができます。また、展示室には、震災遺物や当時の映像を通して地震の「その時」を振り返る展示や、阿蘇キャンパス内の地震断層の剥ぎ取り標本、熊本の大地を学ぶコーナーなどがある



被災した旧 1 号館建物



地表地震断層



数鹿流崩れ跡

他、付近で発生した大規模山腹崩壊の数鹿流崩れ跡などの災害遺構を、建物内から望むことができる配置になっています。なお、施設の入口から旧 1 号館や地表地震断層の保存展示へと導く 1 枚屋根の展示室の建物は、JIA 日本建築大賞など、数々の賞を受賞しています。KIOKU の周辺にはこの他にも、数鹿流崩れ跡とともに崩落した旧阿蘇大橋と新阿蘇大橋の両方を望むことができる数鹿流崩之碑展望所や、南阿蘇村熊本地震慰霊之碑などもあり、合わせて震災の記憶をたどることができます。

復興に向けては、熊本出身の漫画家・尾田栄一郎氏と連携し、「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」として、漫画 ONE PIECE とコラボした取組も進められています。震災から 10 年、熊本県が掲げる、復旧・復興を更なる発展につなげる「創造的な復興」の実現に向け、力強く取組が進められています。



崩落した阿蘇大橋の橋桁



南阿蘇村熊本地震慰霊之碑

## ★ ONE PIECE 熊本復興プロジェクト 10 年展

ONE PIECE 熊本復興プロジェクトによる 10 年間の復興の軌跡を後世に残すとともに、復興に向けて力強く歩み、活気づく熊本の姿を発信する ONE PIECE 熊本復興プロジェクト 10 年展が、熊本県立美術館において、3 月 20 日（金祝）から 5 月 24 日（日）まで開催されます。

コンセプト「SHI-RU-SHI」には、10 年間 ONE PIECE と熊本県が進めてきたプロジェクトの記録と成果を空間に記した「プロジェクトの記」、「復興の印」などの思いが込められています。

漫画の世界と現実の世界が溶け合う空間で、10 年間の取組が展示され、復興の物語を体感できます。被災地の復興を後押しするために県内各地に設置されたキャラクターのブロンズ像の原型も見ることができます。



### ～鉄道で巡る～

南阿蘇鉄道は、JR 豊肥本線に接続する立野駅から、南阿蘇村を横断し高森駅までを結ぶ、10 南阿蘇鉄道株式会社 HP より  
駅、17.7km の鉄道路線です。熊本地震後は 2023 年 7 月に全線復旧し、JR 豊肥本線の肥後大津駅までの乗り入れも開始しました。

阿蘇の山々を眺め、沿線のガイドを行いながら走るトロッコ列車「ゆうすげ号」、ONE PIECE × 南阿蘇鉄道「サニー号トレイン」が人気です。



南阿蘇鉄道株式会社 HP より

### ●プレイクタイム●

#### ♪ 新阿蘇大橋

新阿蘇大橋は、国道 57 号線沿いの南阿蘇村立野と河陽をつなぐ全長 525m、最大橋脚高 97m の橋です。熊本地震で崩落した阿蘇大橋の代わりに、2021 年 3 月に 600m 下流に架橋されました。

複数の橋脚と上部の橋桁を一体化させた PC ラーメン構造が採用され、地震などの揺れに強い構造となっており、歩道も設置されていて、歩いて渡ることもできます。橋のたもとには展望スペースがあり、休憩所やトイレ、ご当地のデザートが楽しめる売店なども併設されています。



熊本県公式観光サイト HP より

◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、[gensaisan2014@gmail.com](mailto:gensaisan2014@gmail.com) まで情報をお寄せください。

◆ この地域の歴史災害記録をオンラインツアー形式、マップ形式で紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『災と Seeing』のホームページ (<https://www.saitoseeing2020.jp/>) をぜひご覧ください。

(発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 2026 年 4 月)